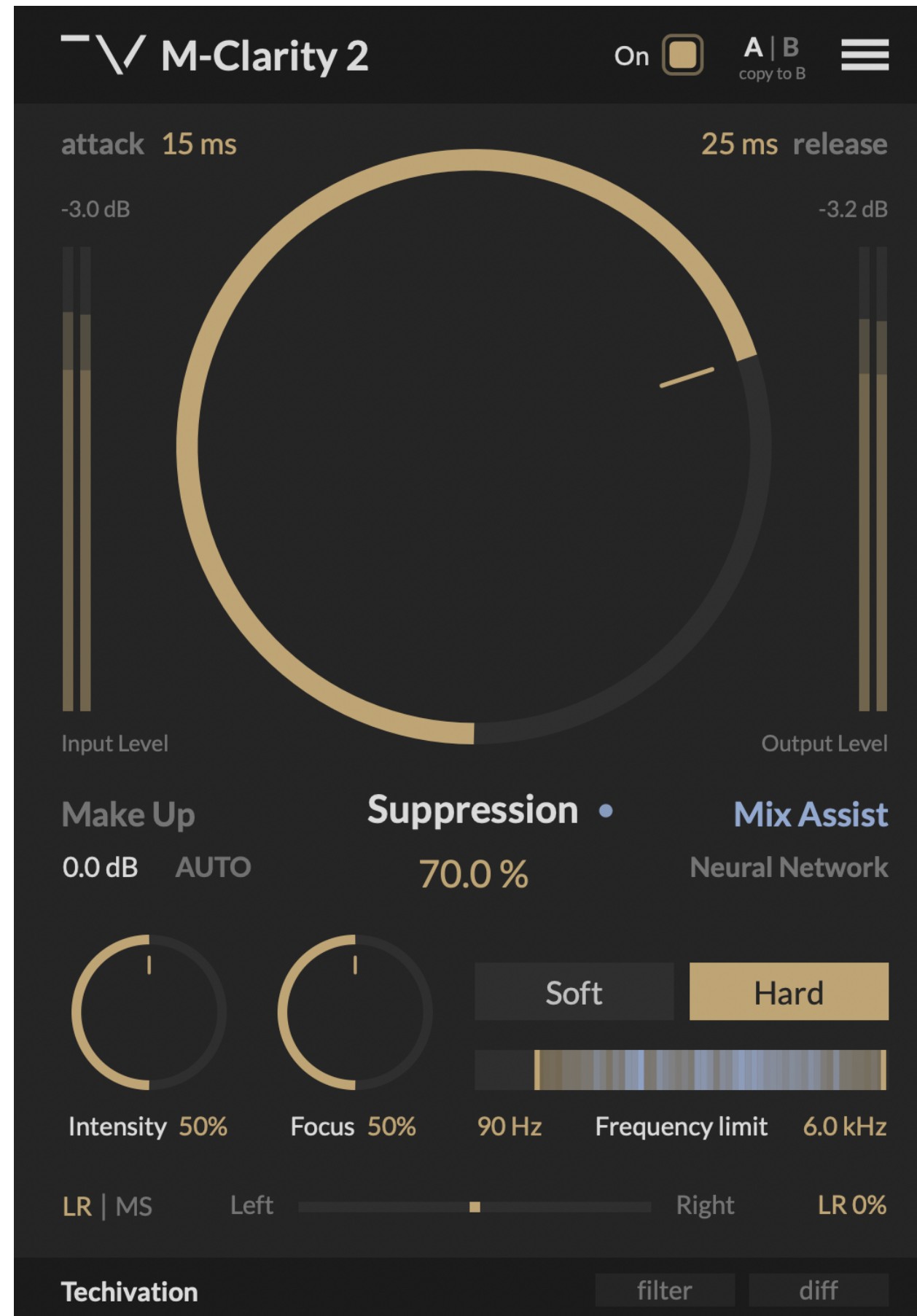


# Techivation M-Clarity 2

## ユーザーマニュアル



# Techivation M-Clarity 2

## 概要

M-Clarity 2は、ダイナミック・レゾナンス・サプレッション・テクノロジーの次世代機で、不要な周波数をさらにコントロールできるように設計されています。高度なスペクトル・プロセッシング・アルゴリズムと適応周波数レンジ・セレクターのようなインテリジェントな機能により、オーディオから箱鳴り、濁り、ハーシュネスを簡単に除去することができます。

ボーカル、インストゥルメント、フル・ミックスのいずれにおいても、M-Clarity 2はよりクリーンで透明感のある結果を提供し、サウンドが原始的な明瞭さとディテールで呼吸することを可能にします。プロ・クオリティのサウンドを、かつてないほど簡単に実現できます。

# M-Clarity 2」の新機能

改善されたダイナミクス： M-Clarity 2のダイナミクス・セクションは一から書き直され、クリーンで反応の良いAttackとReleaseコントロールでサウンドを形作ることができます。

さらなるクラリティ： M-Clarity 2は、スペクトル・シェーピング・エンジンの改良版を搭載し、歪みやアーチファクトのない、よりクリーンなサウンドを実現します。

アダプティブ・プロセッシング・レンジ： M-Clarity 2は継続的にオーディオを分析し、箱鳴り、濁り、ハーシュネスをターゲットに処理周波数帯域を自動的に調整します。

インテリジェント・ミックス・アシスタント： M-Clarity 2の新しいミックス・アシスタントは、オーディオを分析し、トラックに適した設定を提案します。

より優しいソフト・モード： M-Clarity 2の「ソフト」プロセッシング・モードは、「ハード」モードに比べ、エフェクトの強さを落とすことなく、より優しくなりました。

プラグインが何をしているかを確認： M-Clarity 2がオーディオに対して行う正確なスペクトル調整が表示されるので、プラグインが何をしているのか、常にコントロールすることができます、

# Techivation M-Clarity 2

## 特徴

- Suppression
- Intensity
- Focus
- Intelligent Mix Assistant
- Hard & Soft Modes
- Attack & Release
- Frequency Limit
- Diff & Filter
- Make Up & Auto Gain
- Input-Output Level Meters
- Mid-Side and Left & Right
- Internal On-Off Switch
- Presets
- A/B Switch
- Undo-Redo Options
- Scaleable Graphic User Interface (GUI)
- Show/Hide Tooltips
- Internal Menu
- Stereo and Mono

# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Suppression

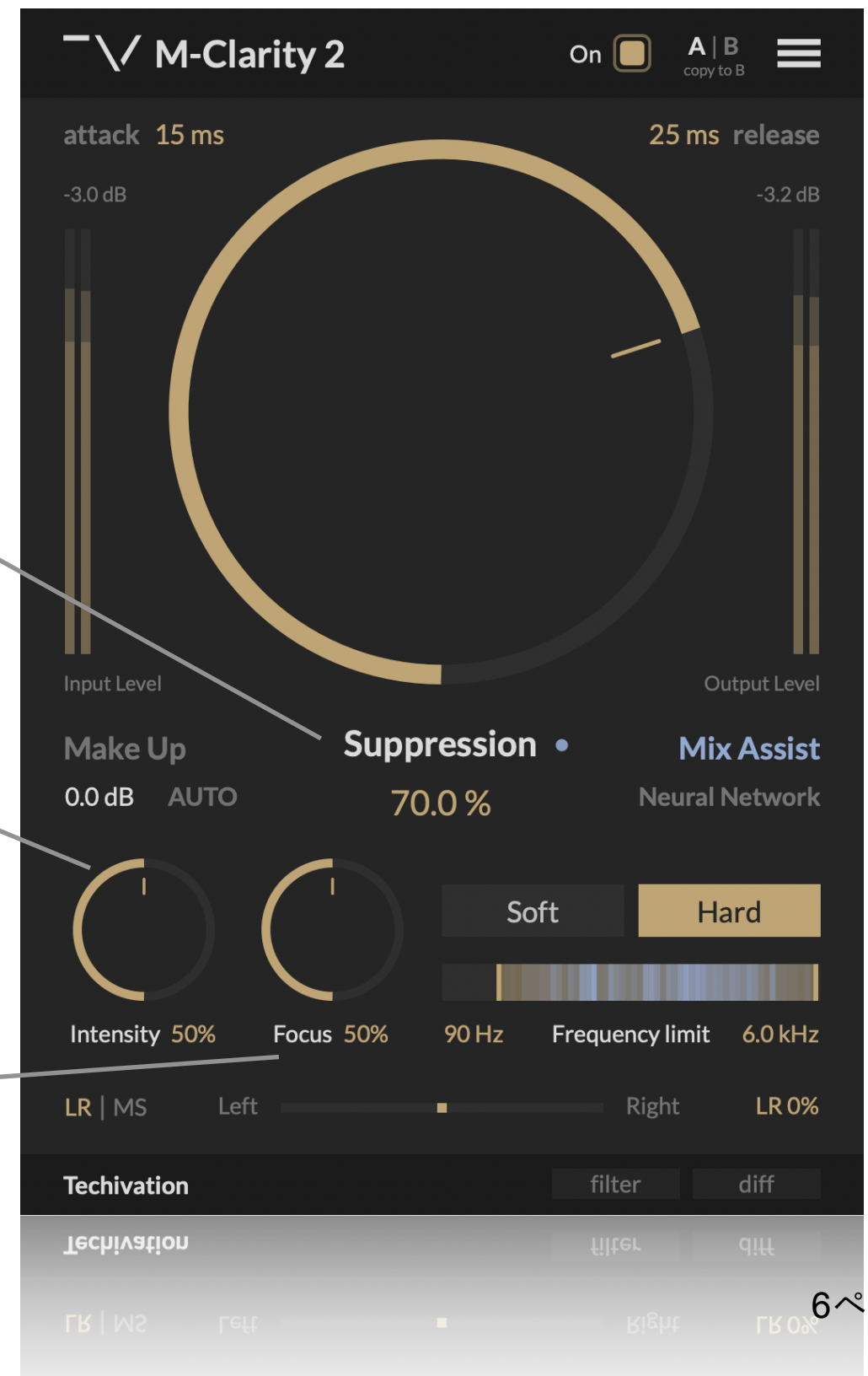
「Suppression」はプラグインのメインコントロールです。オーディオのトーンバランスと明瞭度を向上させるために、対象となる周波数成分をどれだけ低減させるかを決定します。

## Intensity

「Intensity」は、M-Clarity 2がターゲットとするスペクトルのピークのスケールをコントロールします。低い設定では、プラグインはより細かく狭いピークに焦点を当て、高い設定ではより広いスペクトルの調整になります。

## Focus

「Focus」は、M-Clarity 2がスペクトルのピークを抑制する際の選択性をコントロールします。Focus」を高く設定すると、最も強いレゾナンスのみが抑制され、弱いレゾナンスへの影響は少なくなります。



# Techivation M-Clarity 2

特徴

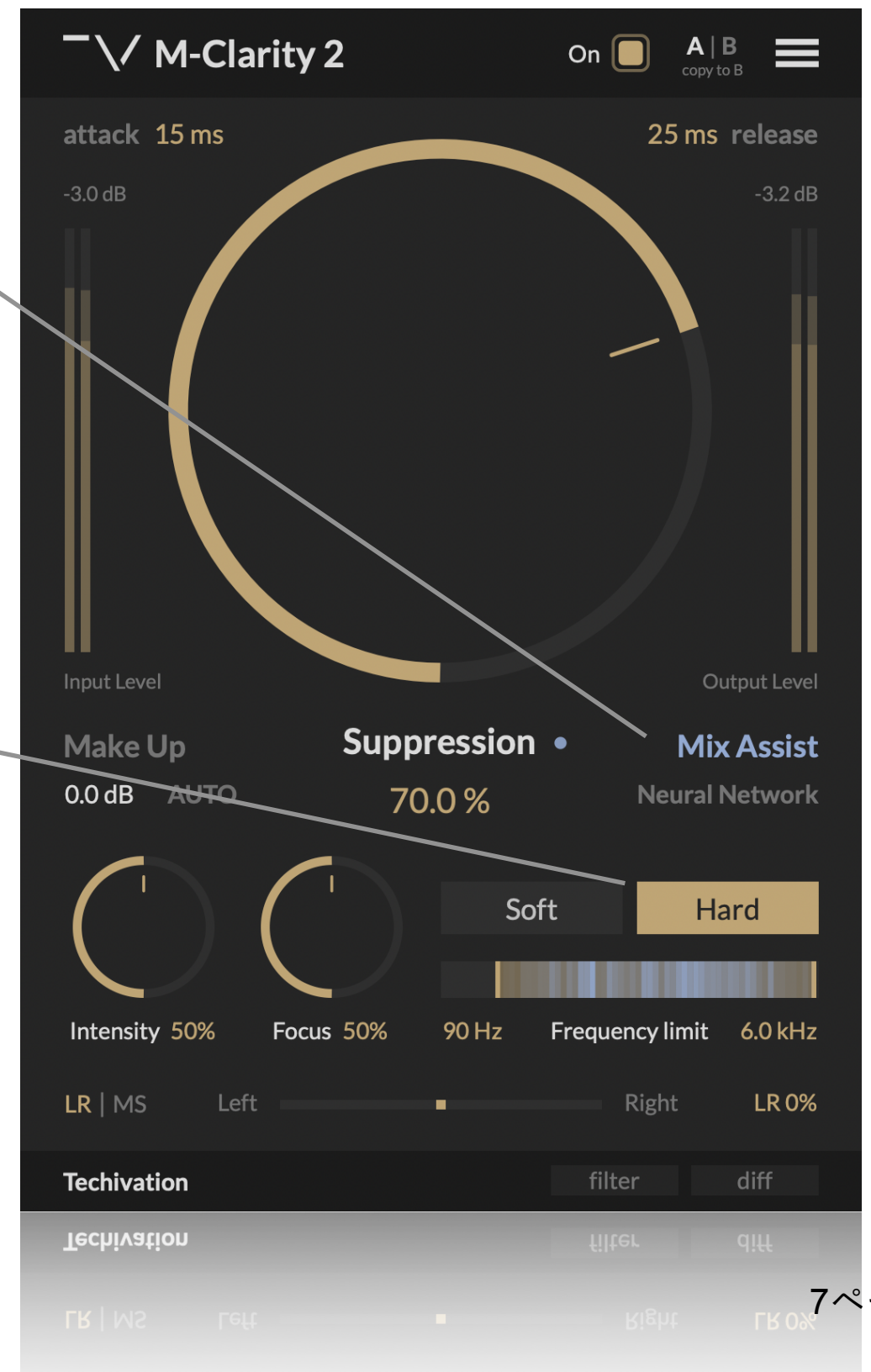
## Intelligent Mix Assistant

「Mix Assist」ボタンを押すと、プラグインが入力をキャプチャして分析し、処理パラメーターをインテリジェントに設定します。M-Clarity 2は、分析のために3.5秒間のオーディオをキャプチャします。最良の結果を得るために、学習時にはトラックの最も忙しい部分を再生するようにしてください。

## Hard & Soft Modes

「ハード」と「ソフト」モードは、M-Clarity 2がオーディオをスペクトラルシェーピングする際に、どの程度穏やかにするかを決定します。

「Hard」モードでは正確で厳密なスペクトル補正が行われ、「Soft」モードではスペクトル・スムージングとより浅いフィルター・スロープが使用され、より穏やかなアプローチが行われます。





# Techivation M-Clarity 2

特徴

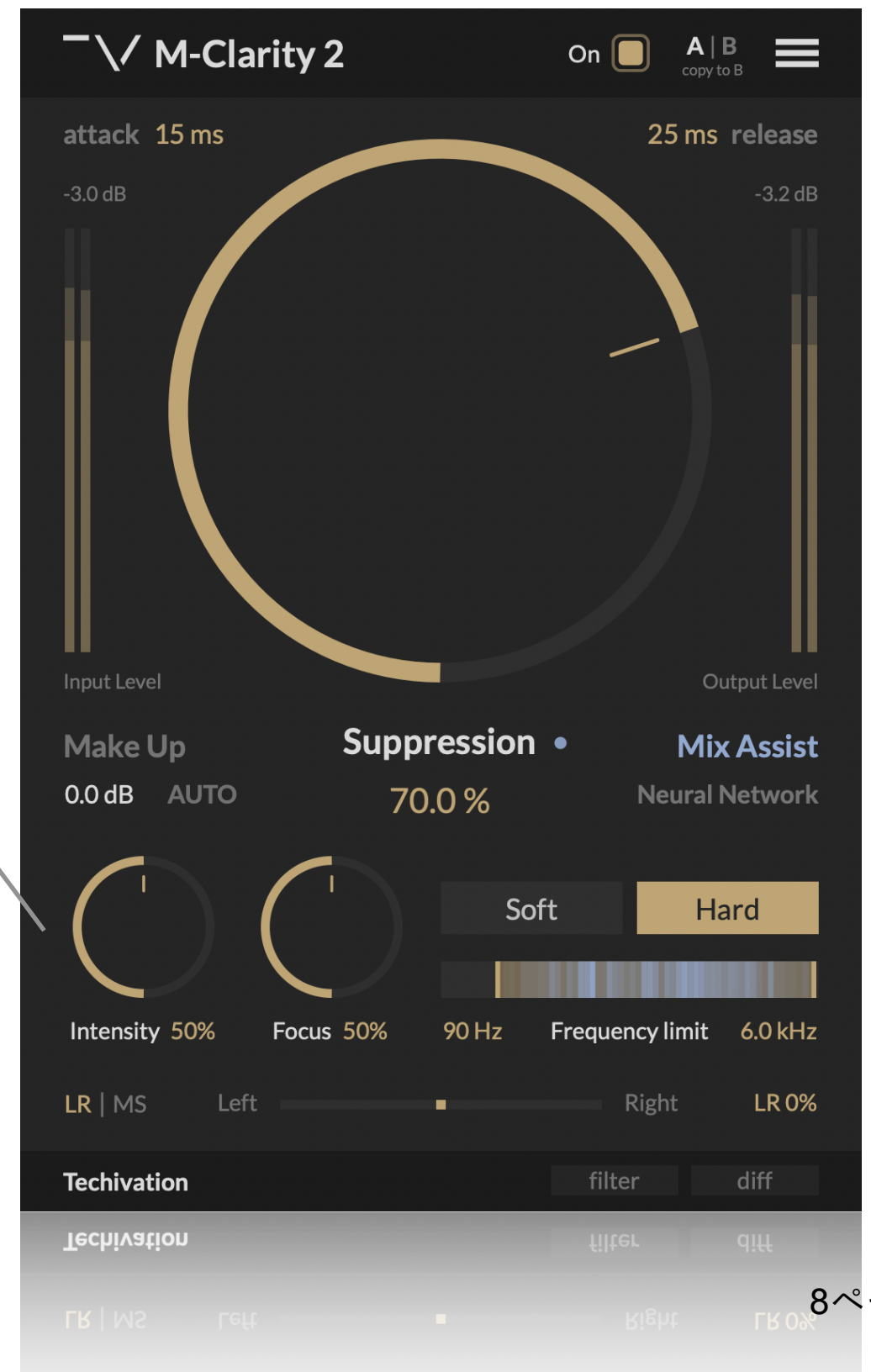
## Attack & Release

「アタック」「リリース」の時間は、M-Clarity 2のダイナミック・レスポンスを決定します。

「Attack」コントロールは、スペクトル抑制の開始を遅らせ、最初のトランジェントをそのまま通過させます。

「Release」コントロールは、抑制のトリガーとなったピークがなくなった後でも抑制を長持ちさせ、リングングやエコーのレゾナンスを調整する完璧なツールとなります。

一般的なダイナミック・プロセッサーとは異なり、「Attack」と「Release」の両方を0 msに設定しても歪みません。実際、この設定は最も正確なレゾナンス抑制につながります。





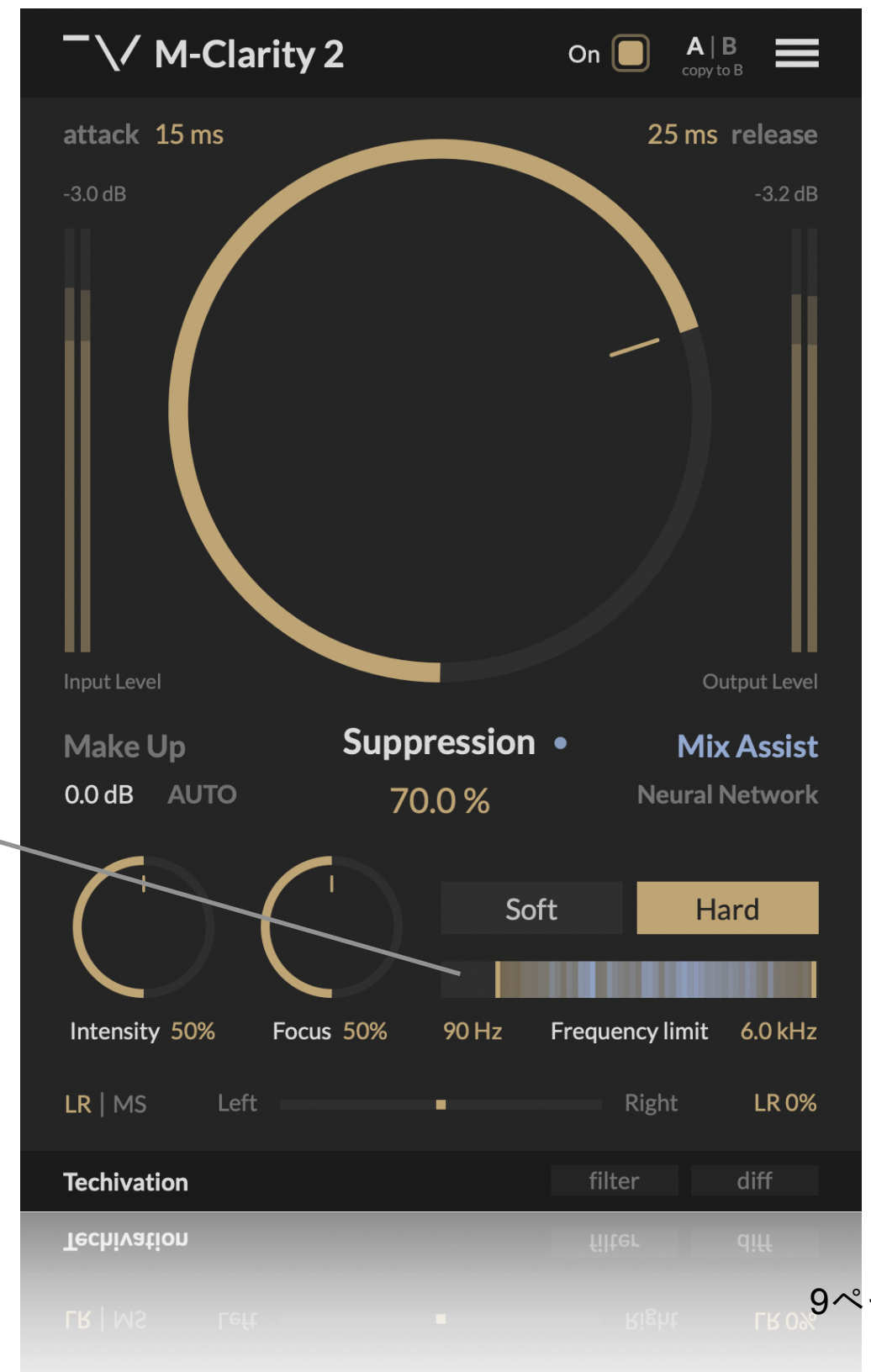
# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Frequency Limit Part 1

「周波数制限」スライダーは、M-Clarity 2の適応的な処理範囲の検出をコントロールします。プラグインは常にオーディオを分析し、強すぎると思われる周波数をターゲットに処理範囲を調整します。周波数制限「スライダー」を調整することで、M-Clarity 2が問題のある周波数を探す範囲を選択できます。例えば、低音域を処理する際に、低音域のパワーを維持するために低音域を除外したい場合があります。

Frequency limit「の範囲を広くすることで、M-Clarity 2がトラックのダイナミックな変化に反応しやすくなり、時間の経過とともに対象となる範囲を継続的に調整できるようになります。



# Techivation M-Clarity 2

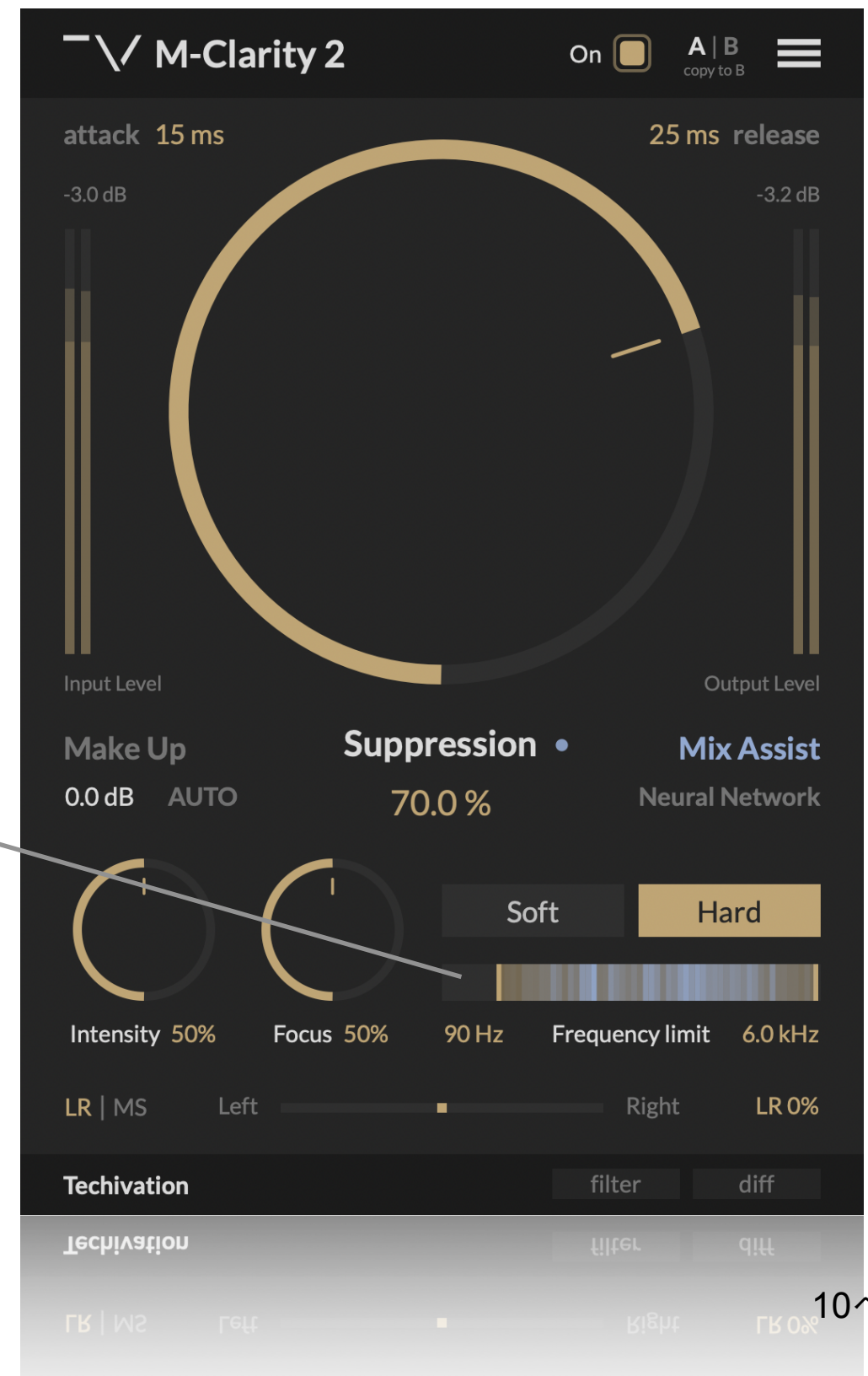
特徴

## Frequency Limit Part 2

しかし、「Frequency limit」スライダーは、スペクトルの特定の部分を手動でピンポイントに指定するためにも使用できます。狭いレンジを選択すると、M-Clarity 2はアダプティブ・レンジ・フィルタリングをダイヤルダウンし、必要なところに注意を向けます。

また、M-Clarity Mk1のような完全なマニュアル・レンジ・ターゲティング動作を希望する場合は、プラグインのメイン・メニューに「アダプティブ・レンジを無効にする」オプションがあります。

周波数リミット "スライダーは、プラグインがリアルタイムで行っている正確なスペクトル調整を視覚化するためにも使用されます。これにより、M-Clarity 2が行っていることを常に正確に把握し、ニーズに合わせて適応動作を簡単に調整すること



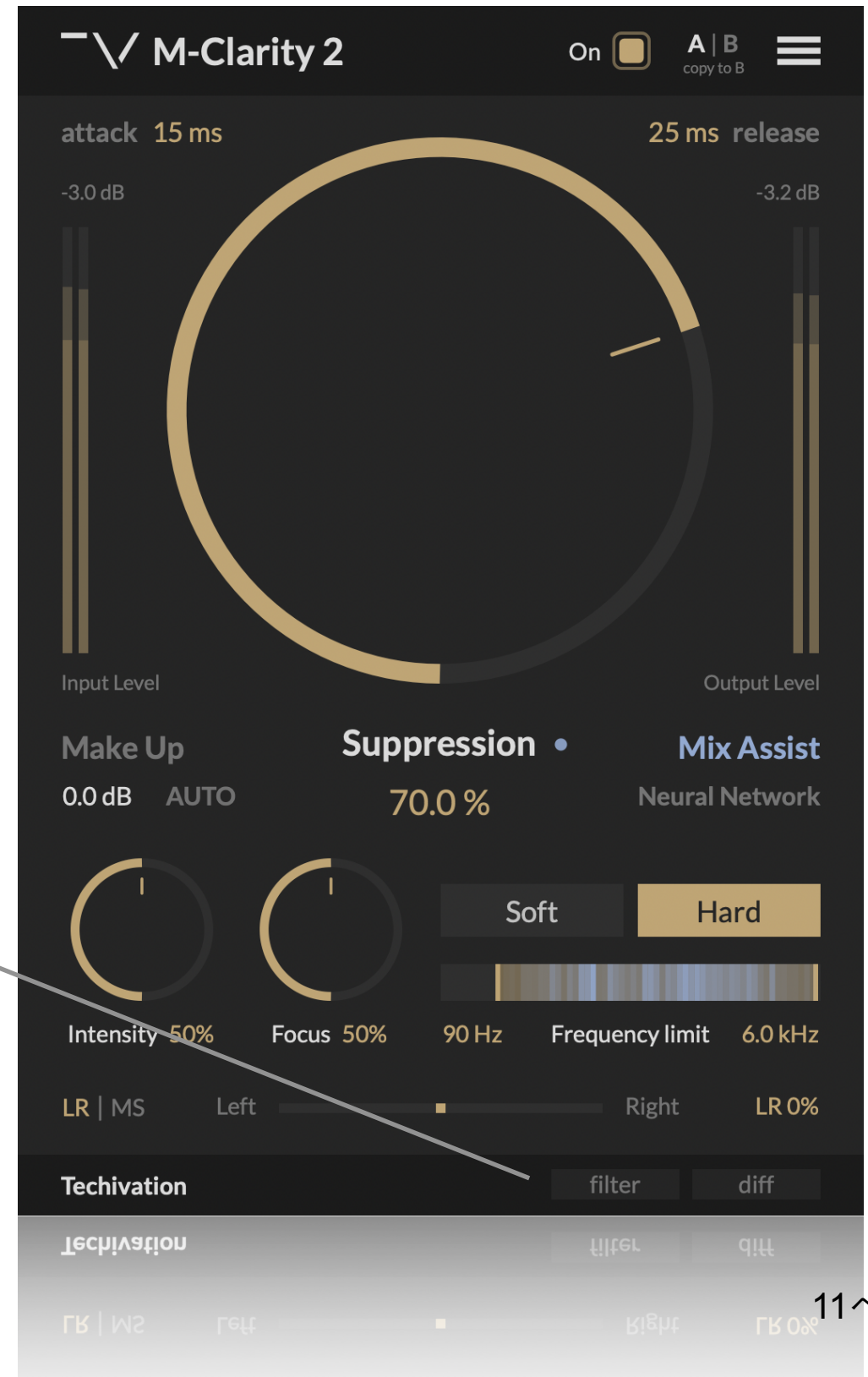
# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Diff & Filter

「Diff」ボタンを押すと、処理された信号と元の信号の違いを聴くことができます。これにより、プラグインによるスペクトル補正を聴き取ることができ、パラメーターの微調整が容易になります。

「Filter」ボタンを押すと、適応処理範囲のフィルターを聴くことができます。Filter「ボタンを有効にすると、」Frequency limit」スライダーの視覚化も適応フィルター形状の表示に切り替わります。そのため、適応フィルターがトラックに合わせてどのように調整されているかを同時に聞いて確認し、「周波数リミット」スライダーを使ってその動作をコントロールすることができます。

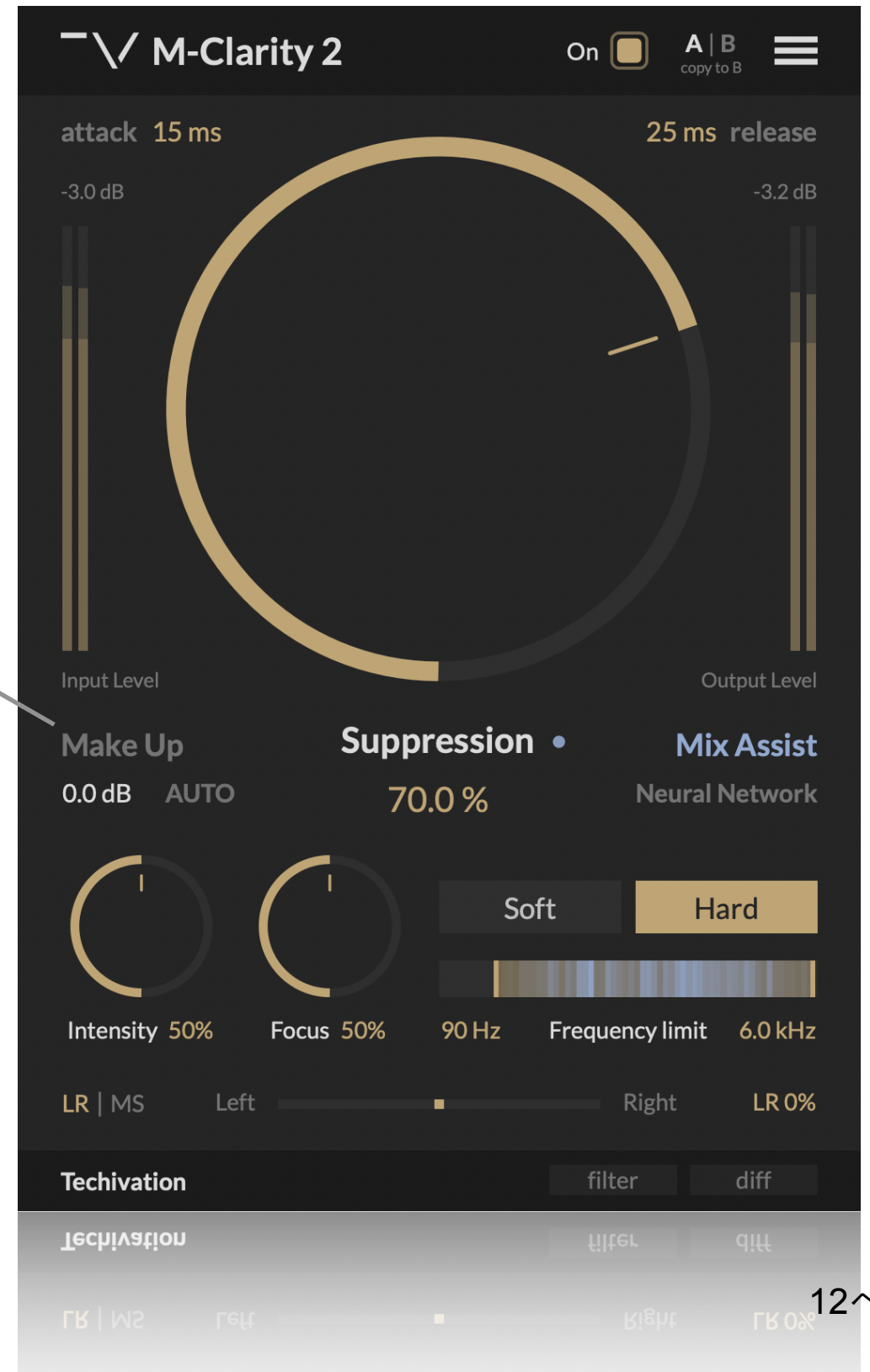


# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Make Up & Auto Gain

「Make Up」は、処理された信号に適用されるクリーンゲインの量をコントロールします。AUTO「をクリックすると、プラグインは処理前後のレベルを測定し、数秒後に「Make Up」パラメーターを適切な値に設定し、その差を補正します。





# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Input-Output Level Meters

入出力レベルメーターは、処理前後の入力信号と出力信号のオーディオレベルを表示するビジュアルディスプレイです。このメーターは、入力と出力のレベルをリアルタイムでフィードバックし、スペクトラル・シェーピング処理中に発生する振幅の変化をモニターすることができます。

M-Clarity 2の入出力レベル・メーターをチェックすることで、処理設定が入力信号に対して適切であること、出力レベルが目的のターゲット・レベルに合っていることを確認することができます。

処理中に入出力レベルをモニターすることで、処理設定を調整し、最適な結果が得られるようにスペクトルシェーピング処理を微調整することができます。



# Techivation M-Clarity 2

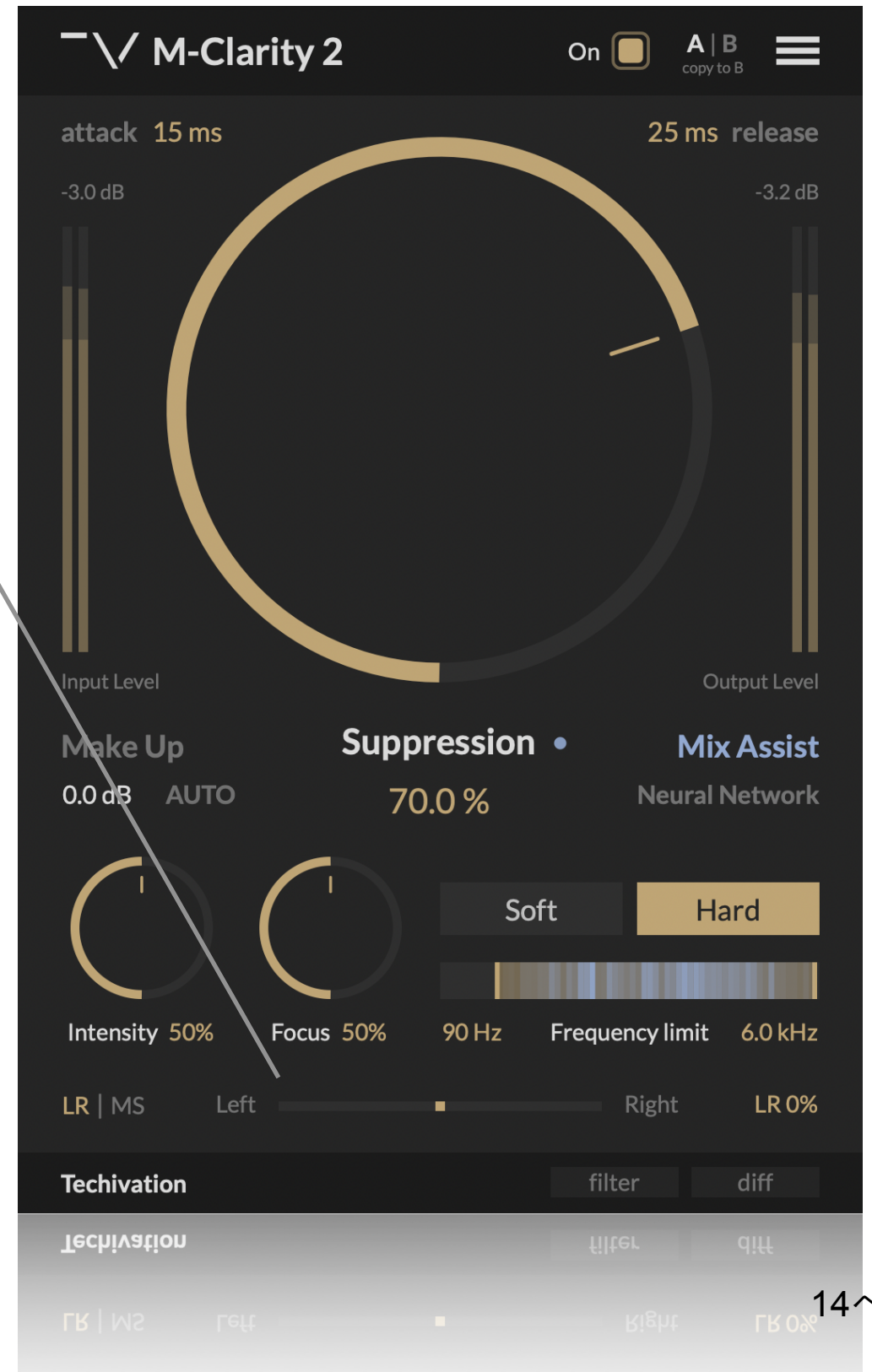
特徴

## Mid-Side and Left & Right

M-Clarity 2の「Left-Right / Mid-Side」セクションでは、LR（左&右）モードとMS（ミッドサイド）モードの間で処理を切り替え、ステレオチャンネルに対するプラグインの効果のバランスをコントロールすることができます。

LRモードでは、プラグインは左右のチャンネルを独立して処理します。トラックのステレオバランスを維持する必要がある場合は、処理をMSモードに切り替えます。

モードは、バランス・スライダーの左側にあるLR（左右）またはMS（ミッドサイド）をクリックして切り替え、スライダーを左右にドラッグするか、右下のパーセント値をクリック、ドラッグ、または入力して量を設定します。

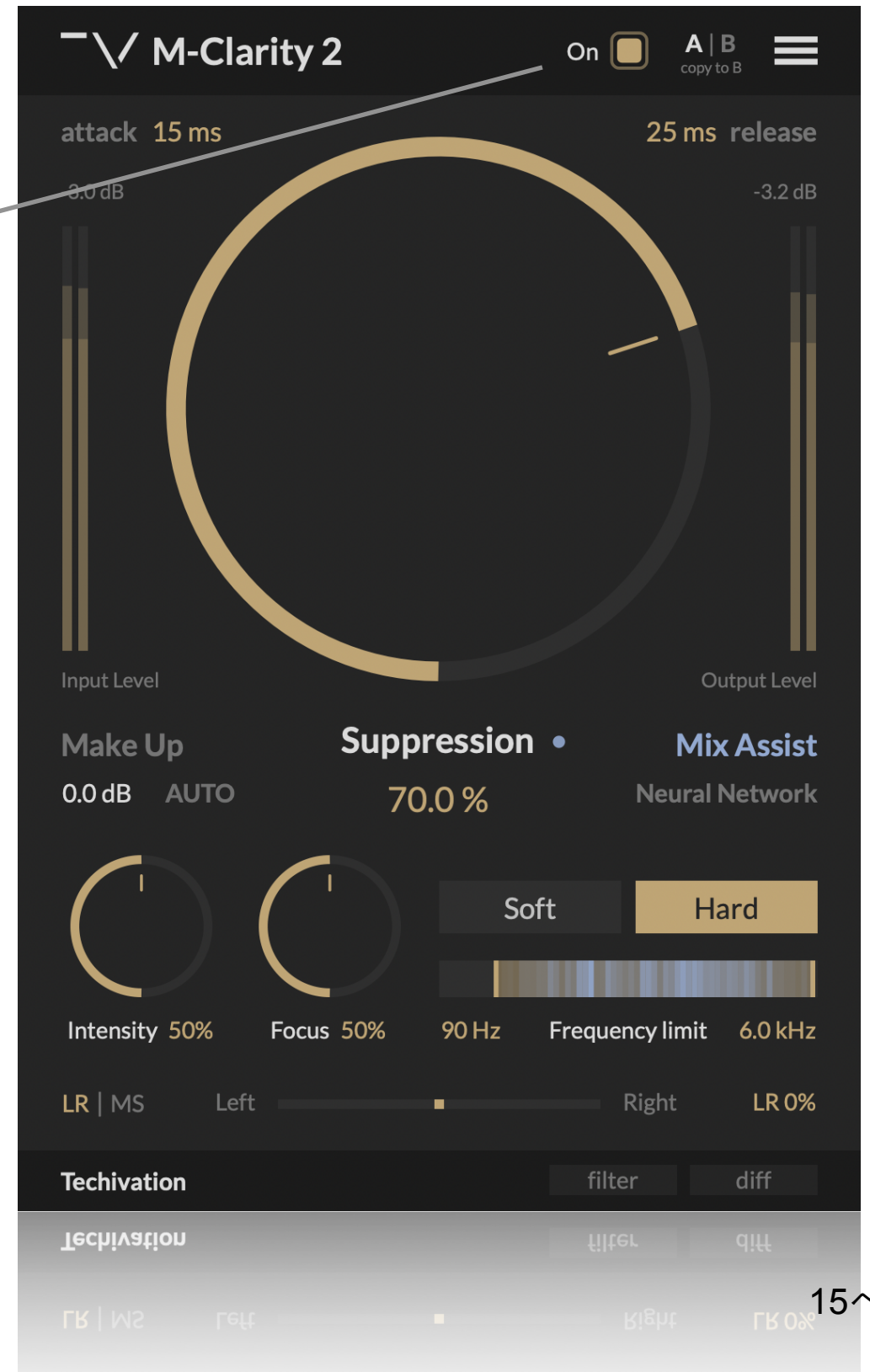


# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Internal On-Off Switch

このプラグインは専用のバイパス/オンコントロールを備えており、エフェクトを素早く有効化またはバイパスすることができます。このユーザーフレンドリーなコントロールは、DAWホスト内で直接エフェクトのオン/オフを切り替える際に発生する可能性のあるクリックやオーディオ・アーティファクトを回避するために設計されています。





# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Presets

このプラグインは、既存のプリセットを読み込むだけでなく、右上にあるメニューを使って独自のカスタムプリセットを作成・保存することもできます。

この機能により、特定のミキシング・ニーズに合わせた様々な設定に素早くアクセスして適用することができ、ワークフローを合理化し、オーディオ処理タスクに一貫した出発点を提供します。

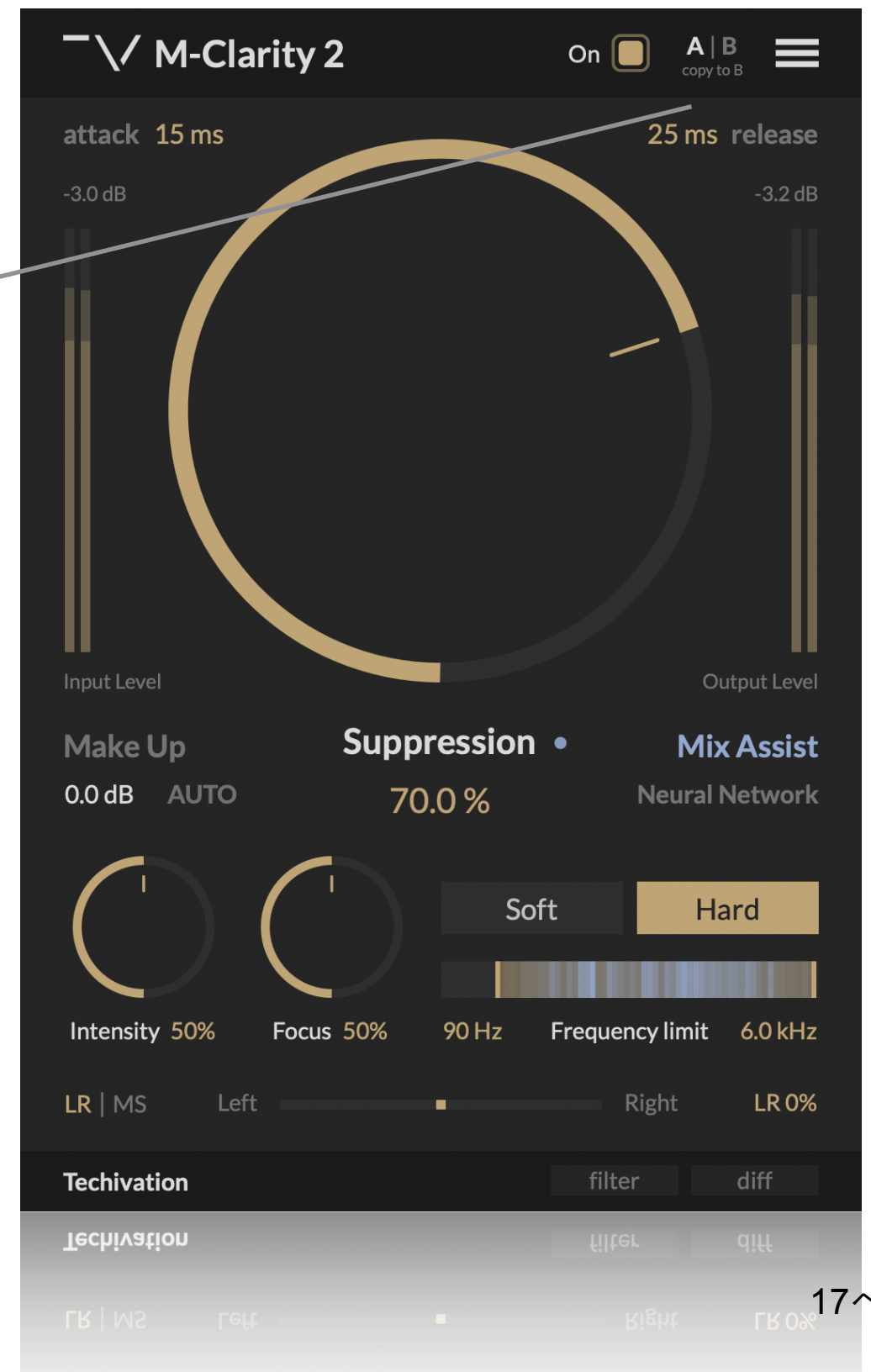
さらに、独自のカスタムプリセットを保存することで、異なるプロジェクト間で好みの設定を簡単に呼び出すことができ、オーディオ制作への一貫した効率的なアプローチを保証します。

# Techivation M-Clarity 2

特徴

## A | B Comparison

A/Bボタンは、異なるオプションを比較し、オーディオ処理のニーズに最適な設定を見つける便利な方法を提供します。クリックするだけで、同じ処理チェーンの2つの異なるバージョンを簡単に切り替え、結果を比較することができます。さらに、'Copy A to B'と'Copy B to A'機能により、設定を一方のバージョンから他方のバージョンにコピーして、その効果を比較することで、小さな微調整や調整を素早くテストすることができます。A/Bボタンと'コピー'機能を併用することで、処理の微妙な変化を効率的に評価し、最適なアプローチについて十分な情報に基づいた決定を下すことができます。この合理化されたワークフローは、時間と労力を節約し、技術的な詳細に煩わされることなく、ミックスのクリエイティブな側面に集中することができます。

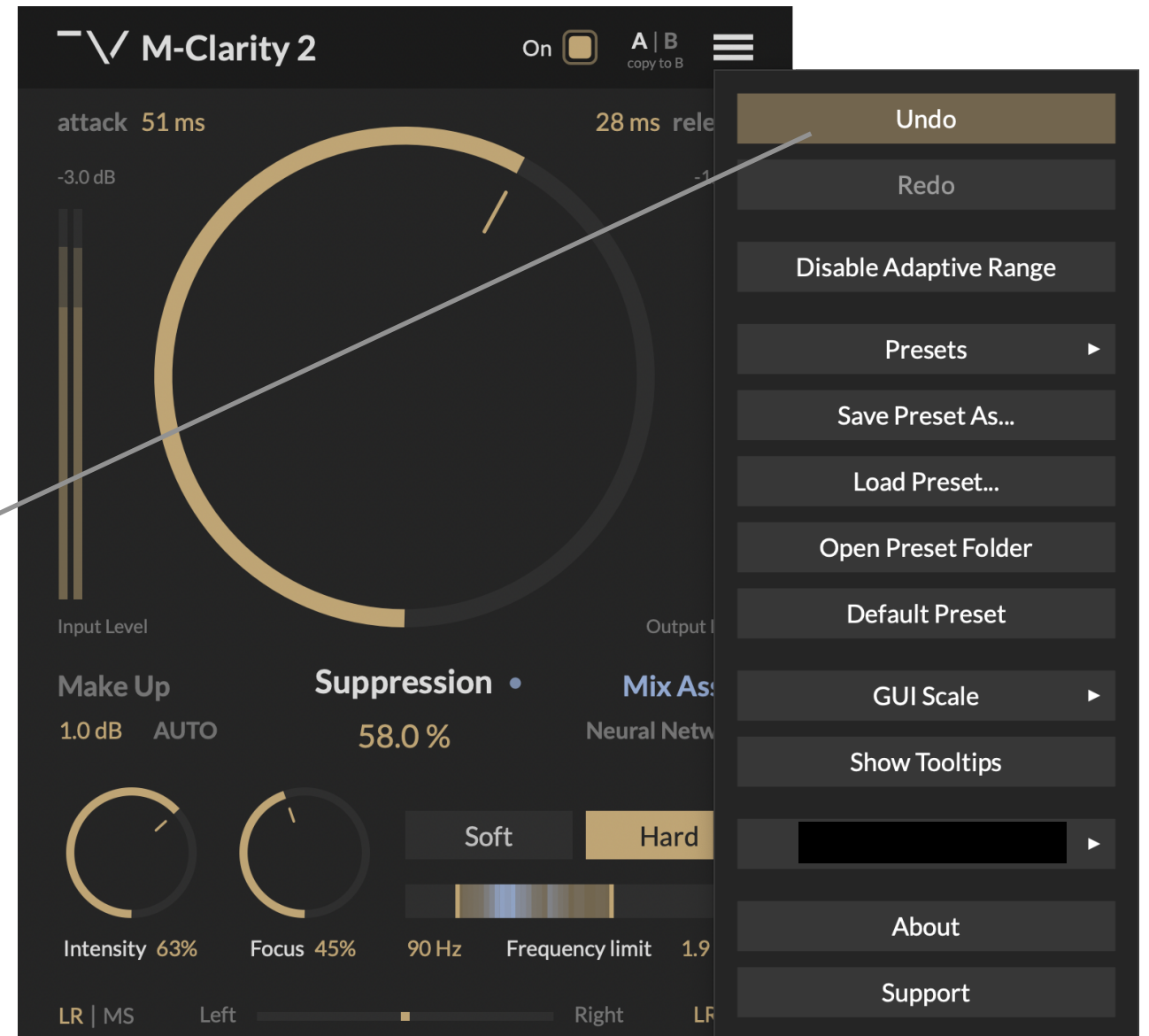


# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Undo/Redo

M-Clarity 2には「Undo」と「Redo」機能が内蔵されており、安心してオーディオ処理を行うことができます。変更を簡単に元に戻したり、やり直したりできるので、時間を節約し、調整した設定が失われるを防ぐことができます。これらの機能により、不可逆的な変更を行うことなく、様々な設定を試したり、実験をしたりすることが可能になり、ワークフローが強化され、オーディオ制作における十分な情報に基づいた意思決定が容易になります。

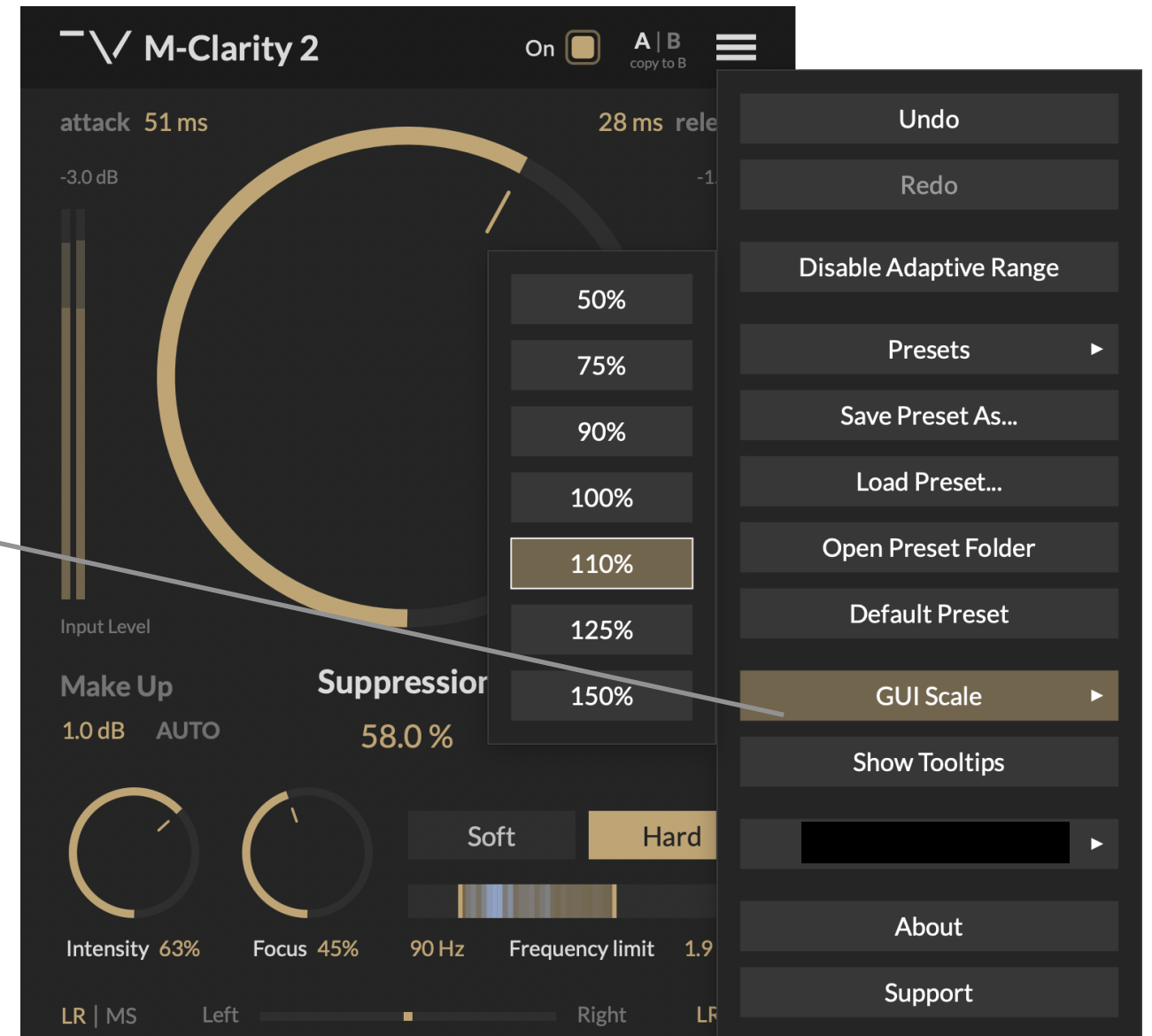


# Techivation M-Clarity 2

特徴

## GUI Scale

M-Clarity 2のインターフェイス・スケーリング機能により、最適なワークフローのためにGUIサイズを調整することができます。50%から150%のスケーリングオプションから選択し、好みに合わせてインターフェイスを調整できます。スケーリングを実行しても、ビジュアル・クオリティは一貫性を保ち、明瞭さを確保します。Retinaディスプレイを含む高画質モニター用に最適化されたこのプラグインは、デバイスを問わずパフォーマンスを維持します。





# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Tooltips

M-Clarity 2 にはプラグインのメニューからアクセスできるツールチップがあり、有効にすると各UI要素の簡単な説明が表示されます。ツールチップは機能、範囲、オーディオ信号への影響など、コントロールや設定に関する洞察を提供することで、ナビゲーションを強化します。ツールチップを有効にすると、ワークフローが効率化され、プラグインの機能を理解しやすくなります。コントロールの上にカーソルを置くだけで、関連情報が表示されます。



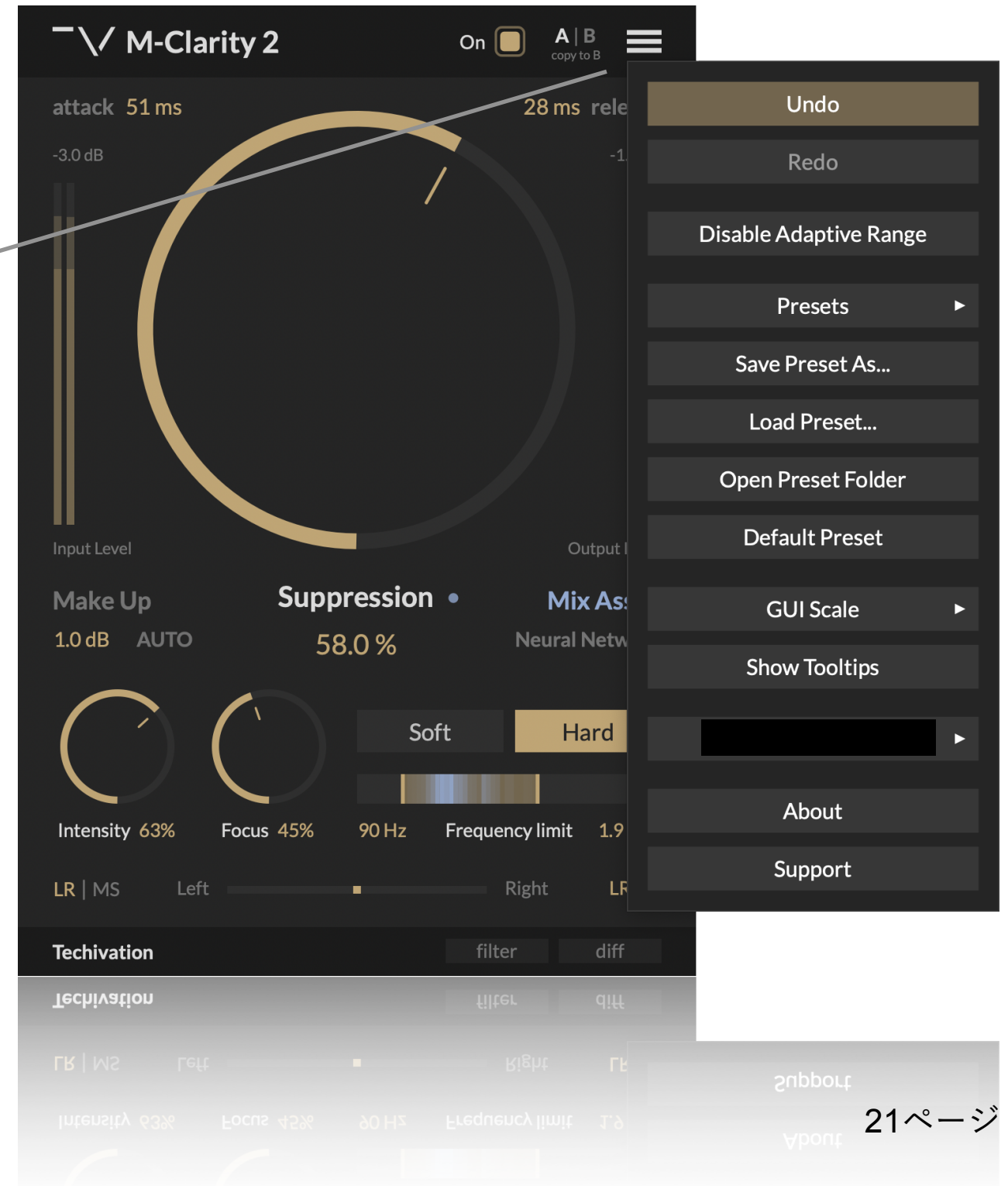
# Techivation M-Clarity 2

特徴

## Plug-in Menu

便利な機能のクイックメニュー：

- Undo
- Redo
- Disable Adaptive Range
- Presets
- Save Preset As...
- Load Preset...
- Open preset folder
- Default Preset
- GUI Scale
- Show/Hide Tooltips
- [Your email]/Sign in
- About
- Support



# Techivation M-Clarity 2

## 互換性

対応フォーマット：VST、VST3、AU、AAX。

対応プラットフォーム：macOSインストーラーは10.15（Catalina）以降をサポートします。

Windows 7以上、64ビットのみ

対応DAW: Ableton Live、Logic Pro、Avid Protools、FL Studio、Cubase、Nuendo、Reaper、その他市販の主要な DAWソフトウェア。

## アクティベーション

M-Clarity 2は、弊社のウェブサイトからライセンスを購入し、弊社の規約条項に従ってアクティベートする必要があります。弊社からライセンスを購入するとすぐに、プラグインにサインインすることで自動的にTechivationアカウントでそのプラグインを有効化することができます。1つのライセンスを購入された方は、同時に最大2台のマシンでプラグインを使用することができます。

## サポート

サポートに関するお問い合わせは、[techivation.com/support](https://techivation.com/support)をご覧ください。

権利の詳細については、[techivation.com/terms-conditions](https://techivation.com/terms-conditions)をチェックしてください。

ご不明な点がございましたら、Eメール（[info@techivation.com](mailto:info@techivation.com)）または [techivation@gmail.com](mailto:techivation@gmail.com)までお気軽にお問い合わせください。

## インストール

M-Clarity 2 のライセンスを購入すると、プラグインにサインインしてアクティベーションを行い、生涯使用することができます。

ソフトウェアのダウンロードはサインアップ/購入時に提供されますが、[Techivation.com](https://Techivation.com)でいつでも最新のソフトウェアアップデートを入手することができます。

ダウンロード後、ファイルを解凍し、お使いのシステムに応じてMacまたはPCのインストーラを選択してください。  
(警告: Mac上でPCのファイルを実行したり、PC上でMacのファイルを実行したりしないでください。)

- Mac：PKGインストーラーをダブルクリックし、指示に従ってください。

- PC/Windows：ファイルの内容を解凍します。セットアップファイルをダブルクリックし、指示に従ってください。



# Techivation M-Clarity 2

## アンインストール・ロケーション

### MAC OS

AU: /Library/Audio/Plug-ins/Components/

VST: /Library/Audio/Plug-ins/VST/

VST3: /Library/Audio/Plug-ins/VST3/

AAX: /Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

その他のデータ: ~/Library/Application Support/Techivation

### WINDOWS

VST: インストーラーで設定したカスタムインストールパス

VST3: %Program Files%Common Files%VST3% あるいは

%Program files(x86)%Common Files%VST3

AAX: %Program Files%Common Files%Avid%Audio%Plug-Ins%

その他のデータ: C:%ProgramData%Techivation

注：このフォルダーは隠しファイルなので、まず隠しファイルが見えるように設

定を変更する必要があります。